

三方よし

藤枝市立藤枝中央小学校



どう育てたら、そのような子どもに育つのだろう？

校長 新村和彦

どう育てたら、そのような子どもに育つのだろうと考えさせられた場面を2つ紹介します。

①藤枝中央小学校では、昇降口を開放していると、風で落ち葉が校内に入ってきます。風が強まってきて、最近では、特に多くの落ち葉が入ってきます。

昇降口に置いてある縄跳びのジャンプ台付近に落ち葉が溜まりやすいので、ある朝、教員が掃除をしていたときのことです。1年生のAさんが通りがかりに「ありがとうございます。」と声を掛けたのです。その後、1年生の男の子が通りがかり、その後、他の教員が通り過ぎました。しかし、お礼を言ったのは、Aさん1人でした。

掃除している大人に対して、声を掛けるのは、難しいことですよね。ましてや、「ありがとうございます。」とお礼の言葉を掛けるなんて、自分が子どもだったらと考えると、声を掛けることができるか自信がありません。

声を掛けられた教員は、ジャンプ台のところだけを掃除する予定でしたが、いい気持ちになって、予定外の場所もはりきって掃除したそうです（笑）。

②5年生の自然体験教室に行ったときの話です。2日目の朝、朝の集いの終了後、M先生が4人の男子と話をしていました。その様子を、少し離れた場所で、Bさんと私が見ていました。Bさんは、朝の薬を飲むために机がある場所で、薬の用意をしていたのです。そこで、Bさんに話しかけました。

新村 「説教ですかね？」

Bさん 「どうですかね？」

新村 「何か、やらかしたのですかね？」「M先生、怒ってますかね？」

Bさん 「そうかもしれませんね。」「でも、M先生は、普段の笑顔がとてもきれいなんですよ。」「M先生だけでなく、先生方の笑顔って、みんなきれいですよね。」

新村 「・・・そうなんだ・・・。(Bちゃんすごいな)」



Bさんが薬を飲み終えて、2人で歩き始めました。

新村 「Bちゃん、大人みたいなことを言うよね。」

Bさん 「でも、本当に、先生方の笑顔ってきれいですよ。」「あっ、もちろん校長先生もですよ。」

新村 「えっー！Bちゃんすごいね！ Bちゃん、本当は、中身30歳位なんじゃないの？」

Bさんの忖度ある発言に、思わず大きな声を出してしまった新村ですが、その時、すでに館内に戻っていました。なので、Bさんに優しく注意されました。

Bさん 「しーっ。」「校長先生、ここは公共の場所ですよ。」

新村 「あっ、ごめんなさい！」

なぜ、Bさんが、「ここは公共の場所ですよ。」と言ったのかというと、朝の集いでM先生が、「公共の場所」での振る舞い方について話をしたからです。先生の話をしっかり聞いていたばかりでなく、すかさず口に出して注意できるBさんは、すごすぎませんか？

通りがかりに「ありがとうございます。」と声を掛けた1年生のAさん。先生への褒め言葉あり、校長への忖度あり、注意ありのBさん。どう育てたら、AさんやBさんみたいな子に育つのか？ いつか、どんな子育てをしたのか、保護者の方に話を聞いてみたいと思った1コマでした。